

# 札幌市の出生率に係る意識調査・分析結果概要

## 1 アンケート調査の概要

### 1 調査の目的

平成28年1月に策定された「さっぽろ未来創生プラン」において、札幌市の合計特殊出生率が全国的にみて低位にある要因として、「高い未婚率」と「夫婦間の出産数の少なさ」と捉えている。

#### 主な年齢別女性の未婚率の全国との格差

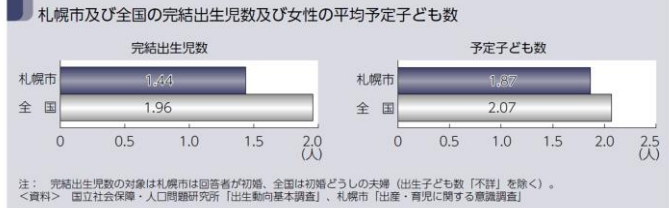
平成22年10月1日現在

年齢	未婚率 (%)		格差
	札幌市	全国	
総数	28.6	23.3	5.3
20～24歳	91.5	89.6	1.9
25～29	67.0	60.3	6.7
30～34	42.3	34.5	7.8
35～39	30.4	23.1	7.3
40～44	23.7	17.4	6.4
45～49	18.0	12.6	5.5

<資料> 総務省「国勢調査」

#### <プランP16>

#### <プランP18>



これらの要因について、20歳代、30歳代の若い世代が、結婚や子どもを持つことについてどのような意識を持っているかをアンケートやグループヒアリングにより、定量・定性の両面から調査し、さらに平成27年3月に内閣府が公表した「結婚・家族形成に関する意識調査」の「全国数値」との比較を行って、未来創生プランに掲げた施策を推進するための基礎資料とするために実施した。

### 2 調査内容

#### (1) 郵送アンケート調査

##### ①調査対象：

20歳代 男性1,250人 女性1,250人  
 30歳代 男性1,250人 女性1,250人 計5,000人を無作為抽出

##### ②調査内容：

結婚、出産、子育て平成27年3月に内閣府が公表した「結婚・家族形成に関する意識調査」の質問項目を基本としつつ、札幌市独自の質問を加えた。

##### ③調査期間：平成28年6月3日（金）〔調査票発送日〕～6月17日（金）〔調査票回収締切日〕

##### ④回収数（率）： 1,194（23.9%）（男性：417 女性：769 性別未回答：8）

#### (2) グループヒアリング調査

##### ①調査対象：

未婚20歳代 男性2人 女性 9人 既婚20歳代 男性1人 女性 4人  
 " 30歳代 男性6人 女性 9人 " 30歳代 男性6人 女性13人 計50名

※郵送アンケート調査回答者のうち、参加の意思を示した方に打診

##### ②実施日時：第1回：平成28年9月3日（土） 第2回：平成28年9月17日（土）

##### ③会場：道特会館 5階大会議室A（札幌市中央区北2条西2丁目26番）

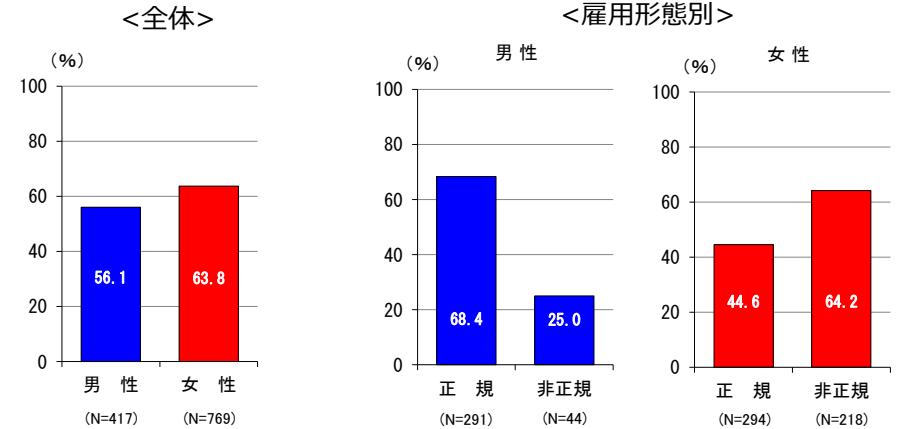
## 2 郵送アンケート調査結果（1）

### ①婚姻状況

婚姻状況について、男性は雇用形態によって大きな差が生じている。男性の雇用形態別の結婚している人の割合は、正規雇用者は約7割であるが、非正規雇用者は3割未満に留まる。

#### 婚姻している人※の割合（全体、雇用形態別）

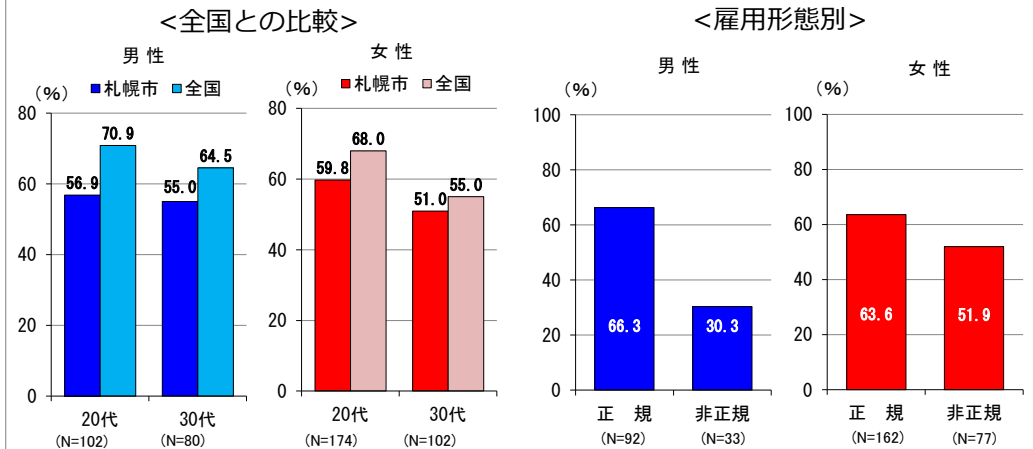
※現在配偶者はいないが、以前結婚していたことがある人（離婚、死別等）を含む



### ②結婚観

全国と比べて「結婚したほうが良い」と考える人の割合が低く、男性は雇用形態によって差が生じている。男性の雇用形態別に見た「結婚したほうが良い」と回答した未婚者の割合は、正規雇用者は6割を越えているが、非正規雇用者は約3割に留まる。

#### 「結婚したほうが良い」と回答した未婚者の割合

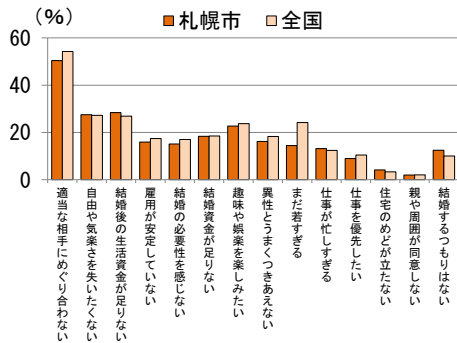


## 2 郵送アンケート結果（2）

### ③現在結婚していない理由

結婚していない理由は全国とほぼ同じ傾向となっており、「適当な相手にめぐり合わない」が最も高い割合となっている。

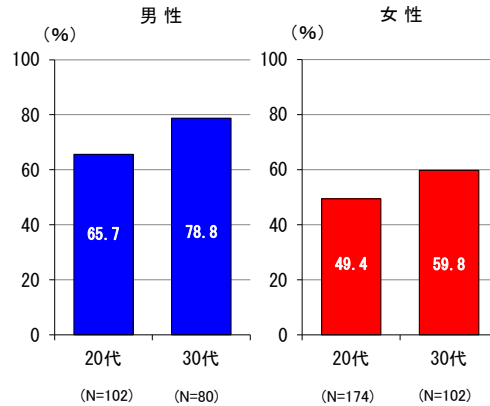
#### 未婚者（全体）が（まだ）結婚していない理由



### ④恋人との交際状況

30代未婚男性の約8割、30代未婚女性の約6割が「交際している恋人はいない」と回答。

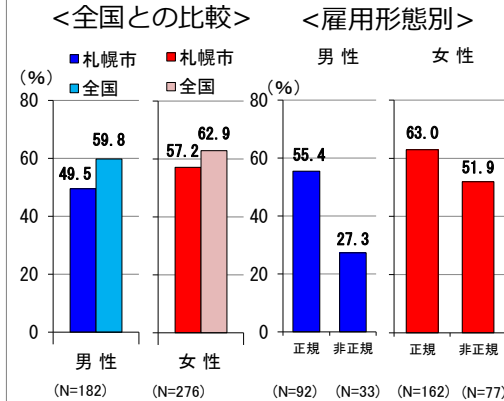
#### 「交際している恋人はいない」未婚者の割合



### ⑦結婚相手にめぐり合う可能性

男性の「めぐり合えると思う」割合は全国より低い。また、雇用形態によって、差が生じており、男性はその差が顕著に表れている。

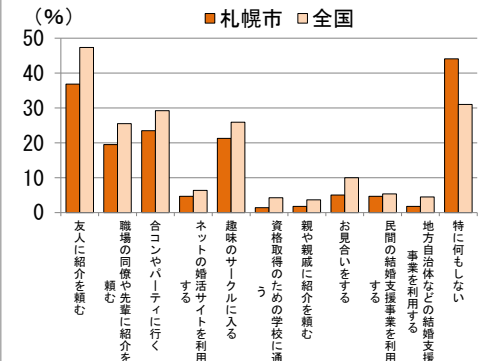
#### 「結婚相手にめぐり合えると思う」と回答した未婚者の割合



### ⑧出会いのために行きたいこと

「特に何もしない」が最も多く挙げられ、国より大幅に高くなっている。その反面「友人に紹介を頼む」は低くなっている。他の出会いのための行動も全国より低い。

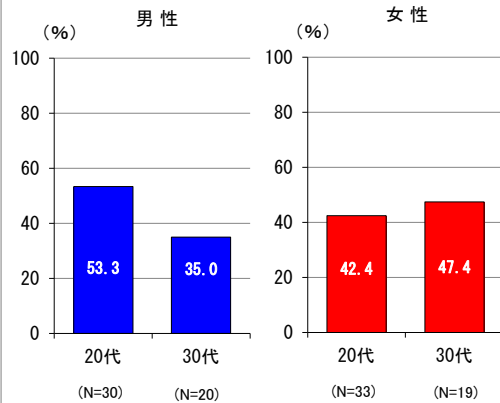
#### 恋人がいない人が出会いのために行きたいこと



### ⑤恋人が欲しいか

「恋人が欲しい」と思う人の割合は20代男性で5割を超えているものの、30代になると低下する。女性では半数以上が欲しいと思っていない。

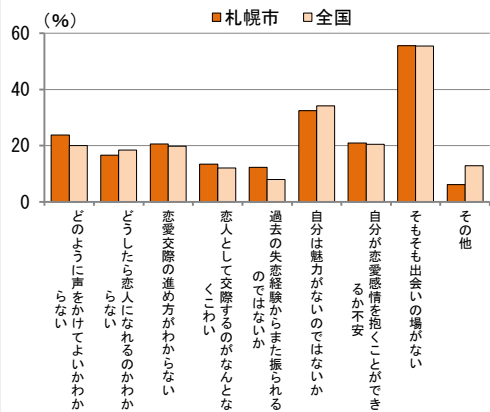
#### 交際経験がない人で、恋人が欲しいと思う人の割合



### ⑥交際への不安

交際への不安は全国とほぼ同じ傾向となっている。「そもそも出会いの場がない」が最も高い割合となっている。

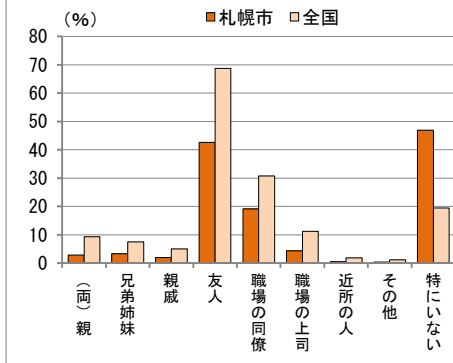
#### 現在恋人がいない人の交際への不安



### ⑨結婚相手の紹介を頼める人

「特にない」が最も高い割合となっており、全国を大幅に上回っている。2番目に高い割合の「友人」は逆に全国よりも大幅に下回っている。

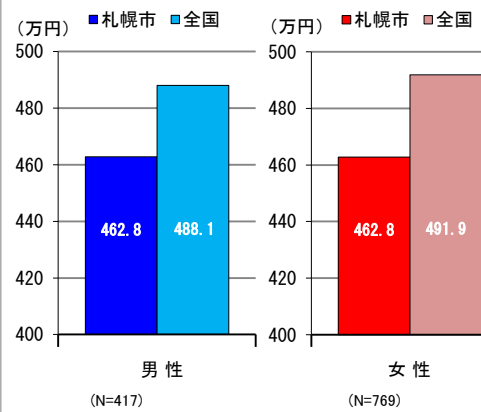
#### 結婚相手の紹介を頼める（頼めた）人



### ⑩結婚生活に必要な夫婦の年収

結婚生活に必要なと考える世帯年収の平均額は男性、女性とも462.8万円。男女ともに全国平均よりも低く、全体平均は全国より27.5万円低い。

#### 結婚生活に必要なと考える夫婦の年収

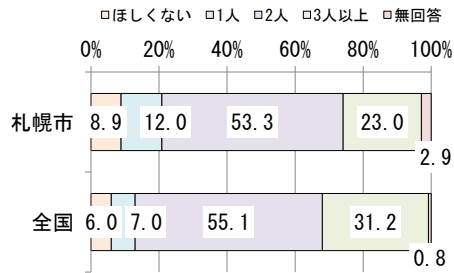


## 2 郵送アンケート結果（3）

### ⑪希望の子ども人数

全国と比較して「3人以上」の割合が低く、一方で、「ほしくない」、「1人」の割合が高い。

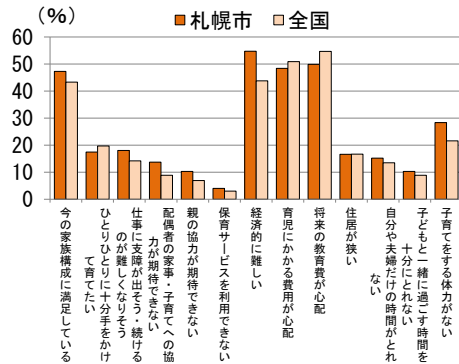
#### 希望する子どもの人数（総数）



### ⑫子どもが欲しくない理由

「経済的に難しい」の割合が最も高くなっており、全国を上回っている。

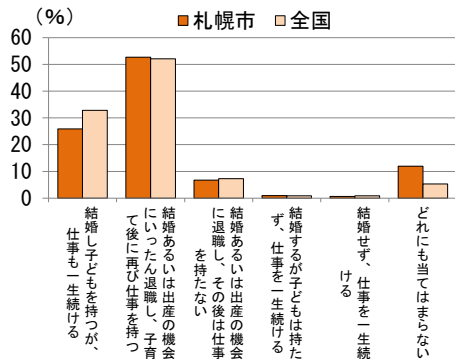
#### （これ以上）子どもが欲しくない理由



### ⑬女性の理想の生き方

「子育て後に再び仕事を持つ」、「結婚し子どもを持つが、仕事も一生続ける」の割合が高く、子育てと仕事の両立を望んでいる。

#### 女性の生き方についてどのように考えているか

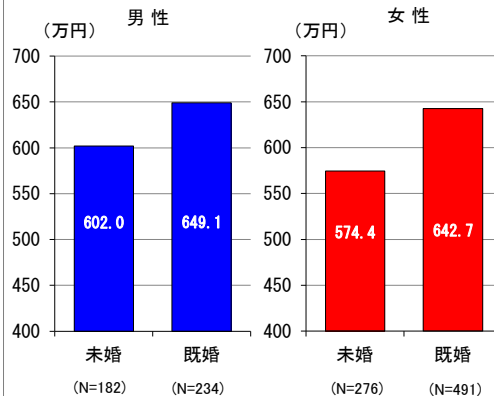


### ⑭子どもを持つのに必要な夫婦の年収

欲しい人数の子どもを持つに必要なと考える世帯年収の平均額は、未婚よりも既婚の方が高く見積もる傾向がある。全体平均は、623.3万円。

※実際の夫婦の昨年の年収平均額は498.5万円

#### 欲しい人数の子どもを持つにあたって必要と思う夫婦の年収



## 3 アンケート調査及びグループヒアリングから伺える札幌の若者の考え方

### 結婚に対する意識

札幌の若者は全国よりも「結婚したほうが良い」と考えている割合が低い。

#### 適当な相手にめぐり合わない

- ・年齢・収入などの条件が厳しい
- ・30歳代の尊敬できる未婚者がいない
- ・求める理想が高いかもしれない

#### 生活資金の不足・雇用の不安定

- ・非正規雇用で収入が不安定
- ・中小企業が多く、給与は少ない傾向

#### 自由さや気楽さを失いたくない

#### 結婚の必要性を感じない

- ・生活が便利
- ・女性が経済的に自立している

#### 趣味や娯楽を楽しみたい

- ・仕事や趣味等が充実
- ・今のライフスタイルが充実

#### 結婚相手の紹介を頼める「人がいない」もしくは「友人が少ない」

#### 出会いのために「特に何もしない」

- ・共通の趣味における出会いが理想
- ・職場での出会いが理想

### 希望の子ども数

札幌の若者は全国よりも「ほしくない」「1人」の割合が高く、「3人以上」の割合が低い。

#### 希望する子どもの人数が少ない

- ・子育てはお金がかかる
- ・自分のことで精一杯

#### これ以上子どもを持つことは経済的に難しい

- ・子どもを3人以上持つためには、世帯収入の増、医療費・教育費の補助が必要

### 女性の理想の生き方

札幌の若者は「結婚し子どもを持つが、仕事も一生続ける」、「子育て後に再び仕事を持つ」の割合が高く、子育てと仕事の両立を望んでいる人が多い。

#### 女性の理想の生き方の多くは子育てと仕事の両立

- ・女性が社会に参加することは大切
- ・フルタイムで働き続けたい（女性）
- ・子どもが小さいうちは、子育てを優先したい（女性）

※グループヒアリングで出された個人意見を「・（内容）」で記載